

西教寺進徳日曜学校だより

西教寺蔵本通支坊 2002.11.2. 呉市中央7-7-13

21-2798 E-mail:chinei63@enjoy.ne.jp

今日したこと

あたらしい おつとめ
讃仏偈(さんぶつげ)

お話「ほうおんこう」
(『せいてん』132頁)
(仏教読本『はと』19頁)
ゲーム
「ねらってねらって」
「ひらがなかるた」

ご正忌報恩講奉賛

第47回全国児童生徒作品展 出品作品



吉中崇裕くん



中原薫乃さん



岩崎 慧くん

保護者のみなさんへ

写真ができました

前回から夏休み子ども大会の写真をお渡ししております。まだの方お願いします。

◎◎自分の目・他人の目一汝を愛する友を疑うことなかれ一 ◎◎
(真田忠美『こころの扉を開く - 臨床心理学覚え書き - より』)

一口で言うと、欠点と、欠点をもったその人をそのままで、「これでいゝのだ」と認めることである。一つは、「欠点があるのには、必ず何らかの事情や理由があつてのことに違いない」ということを理解する、ということである。特に、その理由が明確にわかつたときには、「なるほど」と、肯定的に認めやすくなるものである。

今一つは、「今この人には、このような欠点があるが、いずれ必ず変化してくるに違いない」と信じて待てる、ということである。実際には、その欠点と思つていたことが間違いで、悪いのは自分のほうであつたり、全くの誤解であつたり、ということもある。そのような場合でも、信じて認めて待てれば、その間に、こちらが自分のほうの間違いに気づいて訂正でき、事なきを得てうまくいくようになる、ということもある。

欠点を肯定的に見ることができると、否定的に見ていたときには気づかなかつたさまざまな面が見えてくる。一概に違つとか困つたこととは言えないのだ、ということがわかつてくる。またそのようにより広くわかつてくると、初めは長所だと単純に思つていたことも実は色々と問題を含んでいるのだということもわかり、より深く豊かにその人を肯定的に理解することができるようになるのである。

この次は、**11月17日(日)9時~**です。

その次は12月7日(土)です。